

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 和笑作成日: 平成 30 年 12 月 11 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	保育園、小・中学生との交流を継続して行っているが、地域との関係は日常的な挨拶程度に留まっているため、運営推進会議への地域からの参加者の協力を得て、地域交流の輪を広げていく。	運営推進会議での話し合いを、地域の高齢者の問題等、具体的なニーズへの取り組み(介護相談、カフェの開催や行方不明者捜索模擬訓練等)に繋げ、地域の中でのグループホームの役割をアピールしながら、信頼関係を築いていく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	勤務年数の長い職員が多く、安定したサービスが提供出来ているが、これから先の時代を担う若手の職員がいないため、人材確保への取り組みを強化し、育成、定着に繋げていく。	職員がホームの理念に沿った個人の目標を定め、定期的に自己評価を行い、個人面談を実施して、一人ひとりの思いを聴く機会を設けたり、食事会や忘年会等、親睦を兼ねてコミュニケーションを深める機会を設け、意見を出しやすい雰囲気作りに取り組み、職員のチームワークに繋げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。